

ま ほう

オズの魔法つかい



東京児童劇場

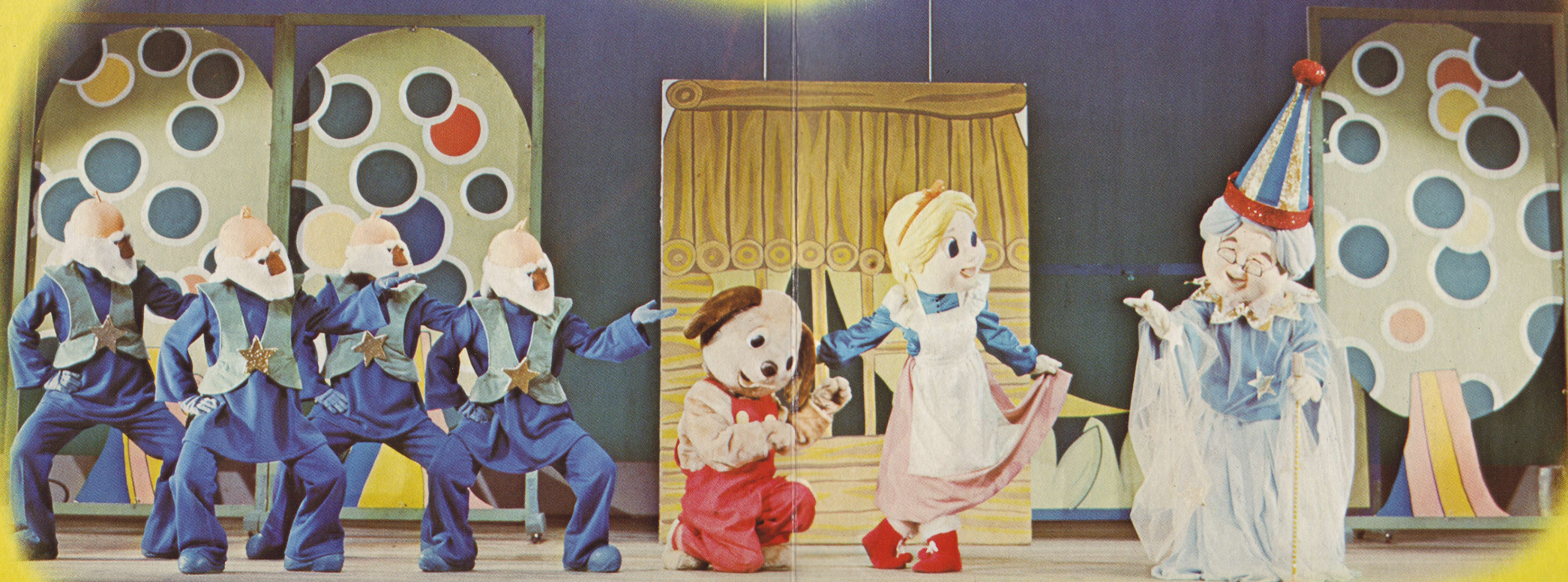
ここは アメリカの カンサスにある ヘンリーおじさんの
のうじょうです。みなしごの ドロシーは ヘンリーおじさん
と こいぬの トートーと 三にんで くらしていました。

ところが あるひ おおきな たつまきが おこって ドロ
シーと トートーは こやごと そらたかく とばされて し
まったのです。さあたいへん！ そのたつまきは ひがしの
くにの まじょが かぜを おこしては あそんで
いたのです。



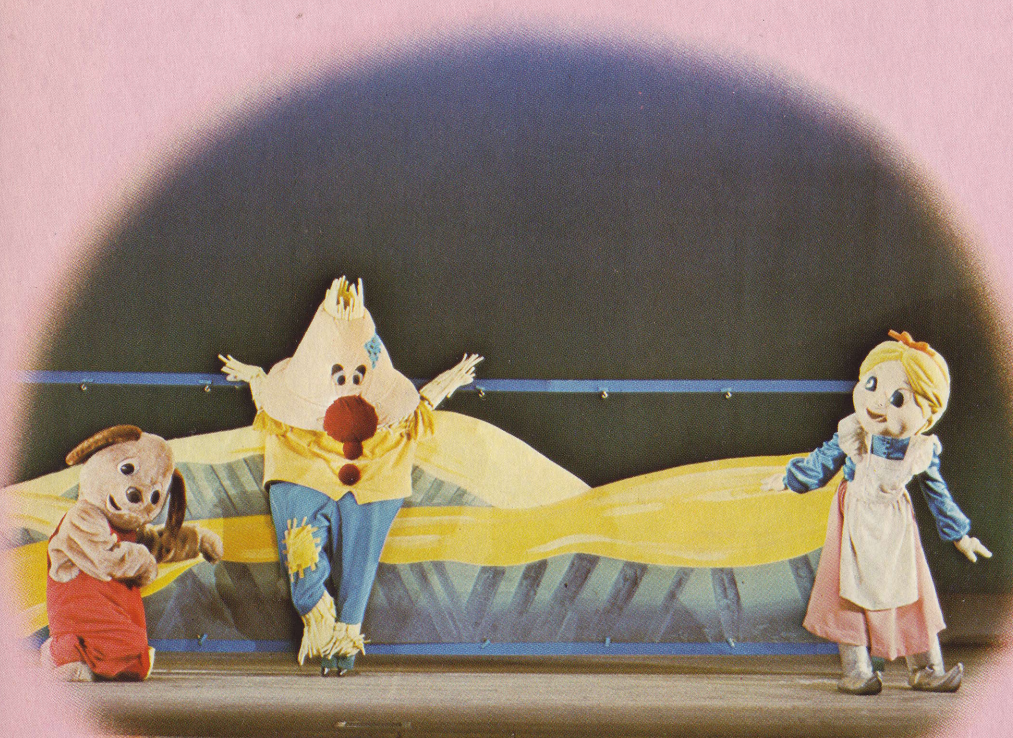
ドロシーと トートーを のせたこやが おちたのは マンチキンという むらでした。ひがしの くにの まじよは こやの したじきになって しんでしまったのです。マンチキンのひとたちは おおよろこび。おれいに きたの くにの やさしい まじよから おまじないを してもらいました。

そして「カンサスに かえるには オズの くんにいって オズだいおうさまに おしえて もらいなさい」ドロシーは おおよろこびで しゅっぱつしました。



「おねえさん! おねえさん!」

ドロシーは よんだのが かかしさんだと わかると したに
おろして やりました。かかしさんは あたまの なかに わ
らが いっぱい つまっていたい かんがえることが できない
のです。オズの くんに いけば どんなことでも かなえて
くれるときいて かかしさんも ドロシーと いっしょに い
くことにしました。あたまの なかに のうみそを 入れても
らって かんがえるちえが ほしかったのです。



「ギリギリ ギリギリ」なんだか へんな おとが します。
三にんが いってみると ブリキでできた きこりが うごけ
なくて こまって いました。ドロシーは ブリキさんの く
びに あぶらを さして あげました。ブリキさんは ドロシ
ーのような やさしいところが ほしいと おもいました。

「ウォー」とうなりごえを あげて むこうから ライオンが
やってきました。ドロシーは ゆうきをおこして ライオン
の ほっぺたを ぴしゃり。ライオンは じぶんに ゆうきが
ないので みんなを いじめて いたのです。ライオンさん
も ゆうきを もらいに オズのくにへ しゅっぱつです。

かかしさんは ぼくに ちえを！

ブリキさんは わしに こころを！

ライオンさんは おいらに ゆうきを！

そして ドロシーは わたしを カンサスへ！

五にんは オズのくにめざして げんきよく あるいて
ゆきます。

いじわるな にしのくにの まじよは おまじないで
ゴリラを よびだしました。そして あの五にんを つか
まえてくるようと そっと めいれいしたのです。



やっと エメラルドのくにに つきました。
ドロシーが あったのは おおきなかおの オズでした。
カカシさんは やさしいおんなの ひとでした。
ブリキさんは かいぶつ。
ライオンさんは まっかにもえる ひのたまの オズだいおう
でした。

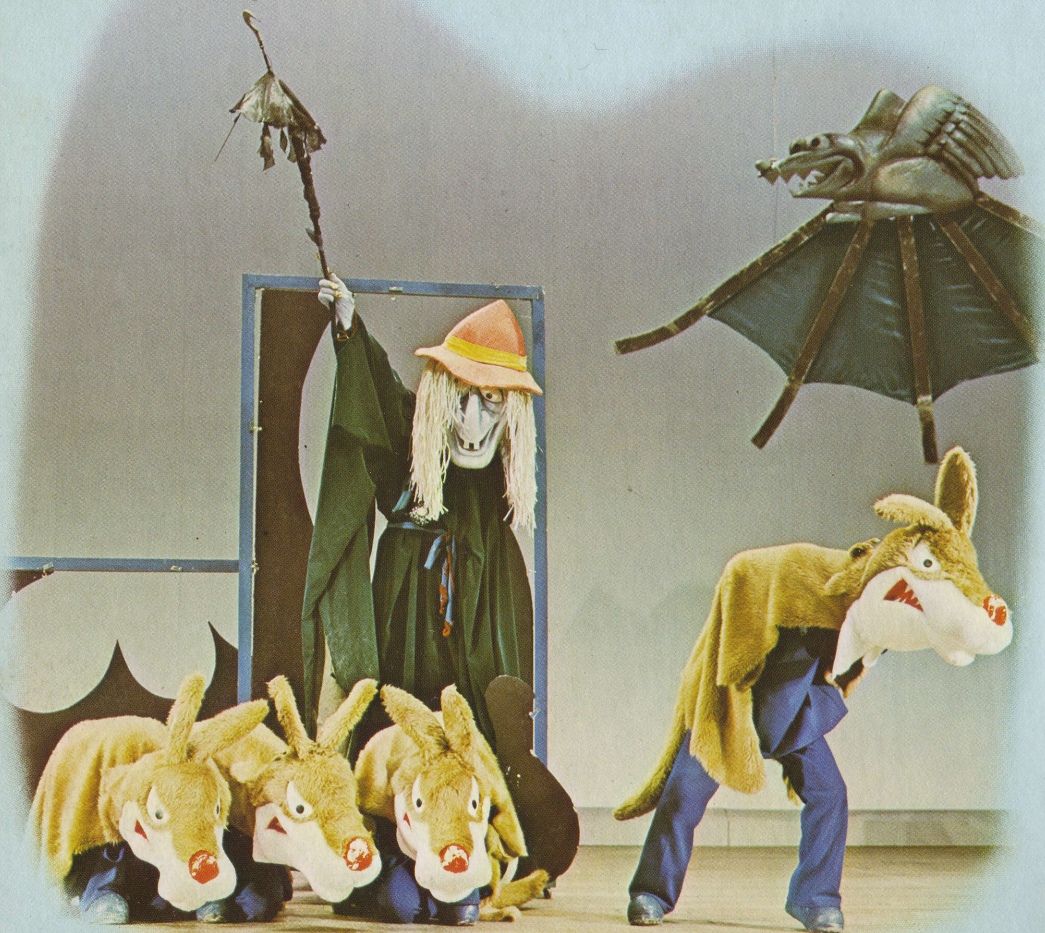
どのオズも ねがいは かなえてあげようと いうのですが
そのかわり にしのくにの まじよを たいじしろと いうの
です。たいへんなことになりました。にしのくにの まじよ
は とっても おそろしい まじよです。こまった五にんは
「ちからを あわせて がんばろう」
と しゅっぱつしました。



にしのくにの まじよは オオカミや カラスや ハチのた
いぐんをつかって せめてきます。でも 五にんは ちからを
あわせて たいじしました。けれども ちからのつよい ゴリ
ラに 五にんは つかまってしまったのです。

ドロシーは おそうじや みずくみを させられました。ま
じよは ドロシーの はいている ぎんのくつが ほしくてた
まりません。

ドロシーを だまして ぎんの
くつを とりあげてしまいました。



くやしくおもった ドロシーは おけのみずを まじよに
あびせたのです。と どうでしょう みずによわい まじよは
あつというまに とろけてしまいました。五にんは また じ
ゆうになったのです。

こんどこそ ねがいが かなえられる！ オズのくに めぎ
して ふたたび
しゅっぱつです。



「オズだいいおうさま にしのまじょを たいじしてきま
した。」五にんが さけぶと カーテンの うらから
「わたしが オズだいいおうです」と ひとりの
おとこが でてきました。

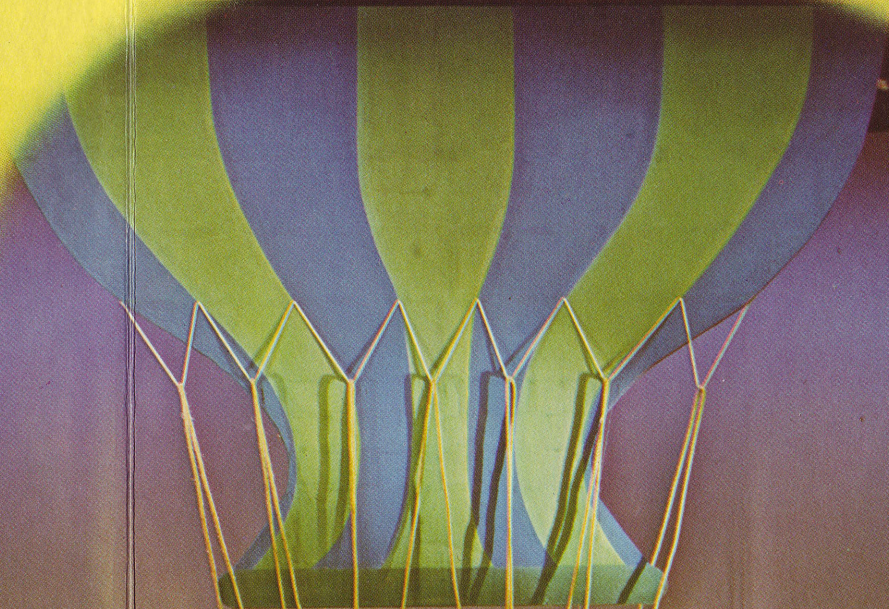
みんなは がっかり してしまいました。

そこへ みなみのくにの こおりのあくまが
やってきて みんなを こおらして しまいまし
た。みんなは こころのうたを うたって
こおりのあくまも たいさんさせました。

そらが にじいろに かがやいて めがみさま
のこえがしました。かかしも ブリキも ライオ
ンも ながい たびのあいだに ほんとうの
ちえや ゆうきや こころを いつのまにか
みにつけて いたのです。そして ドロシー
には「ぎんのくつの かかとを 三どな
らして ごらんなさい」一！ 二！ 三！
すると どうでしょう そらから
おおきなききゅうが
おりてきました。

「これにのって カンサスへ
おかえりなさい」

「ありがとう めがみさま」
ドロシーと トートーを
のせたききゅうは そらたかく
とんでいきました。



ま ほう

オズの魔法つかい

☆すすめ! すすめ!
 オズのくにまで
 すすめ! すすめ!
 このみちを
 わたしのねがいをかなえてくれる
 すすめ! すすめ!
 その日まで

☆さあ すすめ! 手を取りあつて
 さあ すすめ! 力をあわせ
 こわくなんかないぞ
 なにがおこつても
 みんなのねがいをかなえてくれる
 さあ すすめ!
 めぐすは オズのくに!



<スタッフ>

脚色・宮田和実
 演出・松川忠
 振付・池田貞臣
 美術・高橋文朗
 音楽・土持城夫
 舞監・佐々木賢三
 進行・前田曠人

<声の出演>

栗葉子
 堀絢子
 高橋和枝
 千葉順二
 兼本新吾
 他

子どもの劇場

東京児童劇場出版 千171 東京都豊島区目白
 2-34-16 ☎971-1593